

様式第五十の二(第 48 条第 6 項関係)

認定事業面応計画の(中間)実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2022 年 7 月 20 日

2. 認定事業適応事業者の名称

日本ホテル株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

2022 年 7 月～2027 年 3 月

4. 認定事業面応計画の実施状況

(1) 事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

新型コロナウイルスが感染法上の分類が 5 類となり、行動規制が緩和され、またインバウンド水際対策の緩和により、2022 年 10 月からホテル業界はポストコロナのフェーズに入り、稼働率、室単価共に急速に回復していた。

2023 年度は当初計画通りに「ホテルメトロポリタン羽田」と「JR 東日本ホテルメッツプレミア幕張豊砂」を開業させた。「ホテルメトロポリタン羽田」は処々に飛行場のモチーフを取り入れた遊び心いっぱいのユニークなホテルで、羽田空港ご利用のお客さまなどのニーズへの対応に努めている。「JR 東日本ホテルメッツプレミア幕張豊砂」は、京葉線の新駅「幕張豊砂駅」の駅前広場の一角に開業し、ホテルメッツ初のプレミアムブランドとして、「ひとつ上の上質」をコンセプトに、各種上質なサービスを提供している。

(2) 生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2022 年度中に開業した JR 東日本ホテルメッツ大森、2023 年 10 月 17 日開業のホテルメトロポリタン羽田、2024 年 3 月 25 日開業の JR 東日本メッツプレミア幕張豊砂を合わせた営業収益は全社営業収益に対して約 3%に相当し、目標である 1%を達成している。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

- ・有利子負債／キャッシュフロー倍率：2023 年度 1.8 倍（2025 年度目標 10 倍以下）
- ・経常収支比率：2023 年度 132.0%（2025 年度目標 100%超）

(4) 実施した事業適応計画の内容

2023 年度においては、グループ内金融による借入および自己資金により、予定されていた資産を取得した。

予定通り事業供用し、新規ホテルとして「ホテルメトロポリタン羽田」と「J R 東日本ホテルメッツプレミア幕張豊砂」を開業した。